

最後の新1年生を歓迎

由利本荘 小友小、来年統合控え



6年生と手をつないで入場する新1年生

由利本荘市の小友小(加賀秀和校長)で9日、入学式が行われた。小友小は来年4月に子吉小、尾崎小の一部と統合するため、小友小として最後の入学式。新1年生18人が新たな一歩を踏み出した。

保護者や在校生、地域住民ら約160人が見守る中、1年生は6年生と手をつなぎ緊張した表情で入場。名前を呼ばれると「はい」と返事をし立ち上がり、保護者に向かって笑顔で手を振った。

加賀校長は「皆さんの入学を楽しみにしていました。優しいお兄さんお姉さんと仲良くしながら、たくさんの『すてき』なことや人を見つけてください」と呼びかけた。新1年生の池田朱里さんは

「(式は)緊張したけど楽しかった。これからどんな勉強をするのか楽しみ」と話した。

式終了後は2年生13人がメッセージを手書きした画用紙を掲げたり、ダンスを披露したりして入学を歓迎した。小友小は1974年創立。本年度の児童数は1年生を含めて107人。

(大谷好恵)



2年生が手書きのメッセージを掲げて1年生を歓迎した